

ねりいた 練板ベー通信

2018年9月11日 vol.187

練馬板橋ベーゴマの会

作：夕陽のヤスジ



ソウタソウタソウタパパだ〜!

藤原台風NIBに吹きまくる

残暑きびしい板橋平和公園で、第十七期練板オープンが行われ、ソウタが鉄人後藤の追い上げを振り切り、3対1で頂点に立った。2年前の初優勝もオープン、2度目の優勝もオープンで、永世オープンにリーチがかかった。また、そのあとに行われたガチホンコでも、ソウタとソウタパパが優勝、すべて藤原一家が持ち去ってしまったのだ。

鉄人後藤3年振りの優勝に届かず

鉄人後藤が会場に姿を現したとき、時計は11時半をまわっていた。練板オープンはオリジナルベーの当日加工なので、『後藤さん、今頃来て大丈夫なの』と声をかけると、『20分もあれば擦れるから』と余裕の返事だ。さすがこの道80年の大ベテラン、筋金入りだ。

その鉄人後藤、予選に入るや勝つわ勝つ。引き分けを挟み勝ち点22。久しぶりに強い鉄人が帰ってきた。しかし、その上がいたのだ。ソウタだ。鉄人との直接対決では飛ばされたものの勝ち点は合計で23。上には上がいるものだ。

決勝トーナメントはこの二人を中心に進む。予選トップ通過のソウタが、セイパー、リク、ちかはるを破り決勝戦に進むと、予選2位の鉄人後藤もゆうた、そなっち、松ちゃんを倒し決勝戦に勝ち上がる。小六のソウタと鉄人の年の差は七十を超える。爺ちゃんと孫ほどの差がある二人が決勝戦で相まみえるところがベーゴマの面白さだろう。

そして迎えた決勝戦、どちらかが3本取れば勝敗が決まる。鉄人が全身のバネを使い渾身の力で床の中央にベーを投げ入れる。唸りを上げるベーは、出せるものなら出してみろと言わんばかりだ。その周りをソウタベーが回り、ケツをうかがう。予選で負けているソウタは、すでにその対策を練っていたのだろう。鉄人ベーを突いて起こすと見事にケツを取ったではないか。2本取られた鉄人はそれ



ソウタ おめでとう!



でも作戦を変えず、床の中央に投げ入れソウタベを待つ。今度はそうはいかないと言わんばかりだ。すると今度は鉄人ベが弾き出す。会場にどよめきが起こり『後藤さん、あと2本』の声がかかる。するとここでソウタがベを替える。『あ、ベを替えなきゃいいのに』の声がかかったが、結果これでよかった。ソウタが3本目を取り勝負あった。いや〜、老若の力と力のぶつかり合い。これぞ決勝戦という見ごたえのある対戦でした。ソウタ、おめでとう。練板オープン優勝者はトライアスロン覇者のソウタパパとともに、名人戦決勝トーナメントの切符も手に入れたんだよ。11月にもうひと暴れ見せてくれよ。



ガチホンは藤原ソウタパパとソウタ

藤原家には遠慮という言葉がない。まあ勝負だからそれが普通で何の問題もないのだが、少しは遠慮したらと誰かがつぶやいている声が聞こえるほどだ。それくらいこの日の二人は強かった。まずはソウタパパが、ハッシー、ゆうと、ほん魂、マッチ、だいちジャパンを下し大量のベを手に入れたら、次はソウタが、リク、ヘイちゃん、ギャオじい、カイヤを飛ばして全部取り。二人合わせて55個もゲットだぜ。しかもクソベはほとんどない。みんな念入りに作り込んだ勝負ベだ。まあ、二人は沖縄の子どもたちにたくさんベをプレゼントしてきたから、その見返りかな。神様はちゃんと見てくれてるんだね。

バロンドールは松ちゃんが2位との差を広げる

2018NIBバロンドールは、松ちゃんがベスト4で+3ポイント、2位のゆうたがベスト16で+1、3位ほん魂がベスト8で+2、マックスは予選落ちでそのまま、5位岩坊が+1で4位に浮上した。1位と2位の差は4、4位との差が7だ。この程度では逃げ切りとはいかないが、徐々に松ちゃんがリードを広げ、有利に展開していることは確かだ。しかし、誰かが優勝すれば一気に追い抜くことも考えられるので、まだまだその行方はわからない。残り4タイトル、第4コーナーを回って最後の直線に入ったところ。誰が抜け出すのだろうか。



ね
寝もやら
たてた作
またや戦
鉄人
ふれ

そ
そこ退
藤原一
お通り
ヤスジ